

平成30年度 学校評価表

学校教育目標	質実勤勉な気質と自由闊達な精神を校風の基調とし、さらに豊かな教養と高い知性を養い健康な身体に鍛え、広い視野に立ち責任と協力を重んずる民主的かつ有為な社会の形成者を育成する。
重点目標(中・長期的目標)	◇保護者・地域との連携を深め、信頼を得る学校づくりをおこなう。 ◇社会の形成者として必要な規範意識の涵養とマナーの向上及び協働意識の育成を図る。 ◇生徒一人ひとりの興味・関心、能力・特性に応じた適切な指導・支援を行うことで、豊かな人間性を養い、社会を担う人材を育てる。
今年度の重点目標	◇いじめ・体罰のない学校づくりを推進する。特にスマホ、インターネットの利用にはその危険性を理解させ、犯罪の被害と問題行動につながることを未然に防止する。 ◇高大接続、高校教育に関わる改革について研究を深め、具体的な対応を進める。

領域	対象	評価項目	評価の観点		
教育	教育課程	高大接続改革のひとつとして導入予定の学力評価テスト等に向け、生徒・保護者および地域の期待・要望を勘案し、風越高校の特色を生かせる教育課程の検討を進め、提示していく。	次年度の文理分けや講座選択において、生徒の進路や興味・関心に応じたコース等の提示ができたか。 2020年導入予定の評価テストや能動的な学びに対応した教育課程の編成を行うことができたか。		
		学習指導	学力の向上を図るために学習習慣の確立に努める。また、総合的な学習の時間（Fの学び）の在り方について検討していく。	家庭学習の充実を図ることができたか。 効果的な補習授業（土曜・平日）はできたか。 高大接続改革の研究をふまえ、「Fの学び」について検討、計画をすることができたか。	
	活動	進路指導	進路希望に合わせた情報の提供と指導を行う。 職員間の進路情報、指導法の共有を図る。	生徒の意識の高揚を図りながら進路希望に沿った指導ができたか。 e-Portfolio・共通テスト等へ向けて理解と取り組みができたか。	
		生徒指導	キャリア教育の課題を具現化した進路指導を行う。	「Fの学び」等を通して、進路意識を高揚させることができたか。	
			社会規範・交通規則・校則を守る意識を高め、いじめのない自律的な学校生活を送れるよう支援・指導を行う。	いじめ等の問題行動を早期発見し対応できたか。 SNSが持つ危険性を啓蒙できたか。社会規範、交通規則、校則を意識し学校生活を送れるよう指導できたか。	
	地域・家庭との連携をはかり、安心・安全な環境を維持し向上させる。	地域の会合に出席したり、家庭との連絡を密にとることができたか。			
	領域	対象	評価項目	評価の観点	
	教育	相教育	教育相談態勢の充実を図る。	職員間で共通認識を持ち、適切な支援ができたか。 関係機関の活用、連携ができたか。	
			生徒会	自治活動としての支援をはかる。 地域に根ざした活動を目指す。 マナー・モラルの向上をはかる。	委員会、クラブ、風越祭など充実して行えたか。 ボランティア活動などを中心に、地域に出て活動させることができたか。 あいさつや身だしなみ、環境美化などの啓発を行えたか。
		活動	保健	自己の健康課題を把握し、健康の保持増進に主体的に取り組む力を育てる。	疾病の早期発見に努め、早期治療につなげることができたか。また、健康上管理を必要とする生徒が学校生活をスムーズに送れるようサポートできたか。 夏場の熱中症の予防等、季節に合わせた体調管理ができるよう、啓発活動を行うことができたか。 年間を通して感染症の予防に努め、校内での感染症の蔓延を最小限にとどめる取り組みができたか。
図書				図書館の利用促進をいっそう図るとともに、高大接続に向けた資料の拡充を目指す。	図書館の情報発信・資料の拡充とともに、資料閲覧、調査、貸出が円滑に行えたか。
視聴覚				視聴覚教育の充実を図る。	芸術鑑賞が生徒たちの情操を豊かにするものであったか。
人権		平和	基本的な人権と人間の尊厳を尊重し、差別・偏見・いじめを容認しない。平和や真理を希求する人格を育成し、人権尊重の実践を目指す。	人権学習や修学旅行体験を通じて、戦争と平和、差別や不当な人権侵害について学び、人権感覚を磨かせることができたか。 いじめや命の尊さについて学び、人権感覚を磨き、育むことができたか。	
			学校運営	保護者や地域との連携・交流に努めるとともに、積極的に情報を発信し、より一層開かれた学校づくりを進める。	WEBページの更新や広報誌の「風越便り」の発行等を定期的に行い、学校情報を積極的に発信できたか。 PTA活動や学校評議員会の意見を学校の教育活動に生かすことができたか。